

浄化槽保守点検業務委託契約書

委託者 (以下「甲」という。) と

受託者 (以下「乙」という。) は、浄化槽の

保守点検に関し、次のとおり契約を締結する。

(信義誠実の義務)

第1条 甲及び乙は、信義に従い、この契約を誠実に履行するものとする。

(委託業務)

第2条 乙は、次に掲げる浄化槽の保守点検業務を行うものとする。

設置場所 郡山市

設置年月日 年 月 日

型 式

人 槽 人槽

(実施の方法)

第3条 乙は、浄化槽法（昭和58年法律第43号）の規定に従い、年 回定期的に保守点検業務を行うものとする。

2 乙は、保守点検の記録を甲に提出するとともに、その内容について説明を行うものとする。

(委託料)

第4条 委託料は、年額 円（内消費税額 円）とする。

(委託料の支払い方法等)

第5条 甲は、前条に規定する委託料を保守点検の都度もしくは、年額一括して乙に支払うものとする。

2 甲は、乙の文書による請求を受けたあと 日以内に当該請求金額を乙に支払うものとする。

(委託期間)

第6条 委託期間は、 年 月 日から 年 月 日までとする。ただし、期間満了の一か月前までに、甲、乙いずれからも契約内容の変更又は解約についての申し出のない場合は、一か年延長するものとし、以後についても同様とする。

(権利義務の譲渡等の禁止)

第7条 甲及び乙は、この契約により生じた権利又は義務を、第三者に譲渡し、又は継承させてはならない。ただし、相手方の承諾を得た場合は、この限りではない。

(再委託の禁止)

第8条 乙は、この契約の履行について、業務の全部又は一部を一括して第三者に委任し、又は請け負わせてはならない。ただし、あらかじめ書面により甲の承諾を得た場合は、この限りではない。

(秘密の保持)

第9条 乙は、保守点検業務の施行に際して知りえた事実を、第三者に漏らしてはならない。

(損害賠償)

第10条 乙は、保守点検業務のため甲又は第三者に損害を及ぼしたときは、その賠償の責めを負うものとする。ただし、甲の責めに帰すべき理由による場合は、甲がその責めを負うものとする。

(解除等)

第11条 甲は次の各号のいずれかに該当するときは、この契約を解除することができる。

- (1) 乙がこの契約に違反したとき。
- (2) 乙の委託業務の施行が不相当と認めたとき。
- (3) この契約を履行することができないと甲が認めたとき。

2 前項の規定によりこの契約が解除された場合、乙はその解除によって生じた甲の損害を賠償しなければならない。

(補則)

第12条 この契約に定めのない事項については、必要に応じて、甲乙協議の上定めるものとする。

この契約の締結を証するため、本書2通を作成し、甲乙記名押印のうえ各自その1通を保持するものとする。

年 月 日

甲（委託者）住 所

氏 名 ⑩

乙（受託者）住 所

氏 名 ⑩

登録番号 郡山市長登録第 号